

令和 6 年 9 月 26 日
国土交通省中部地方整備局
沼津河川国道事務所

記者発表資料

E70 ^{い ず じゅうかん}伊豆縦貫自動車道 国道 414 号
^{かわづしもだ}河津下田道路（Ⅱ期）^{かわづななだる}河津七滝IC～^{かわづさかさかわ}河津逆川IC 間
開通 1 年半後（夏期観光期）の
交通状況・開通効果について

1. 概要

令和5年3月19日（日）に開通した伊豆縦貫自動車道 河津下田道路（Ⅱ期）
河津七滝IC～河津逆川IC間の開通1年半後（夏期観光期）の交通状況・開通効果についてとりま
とめましたので、お知らせいたします。

■交通転換の状況（別紙2）

- ・河津下田道路の利用者は堅調に増加し、令和6年8月観光期の交通量は約5,800台/日。
- ・並行する国道414号及び（主）下佐ヶ野谷津線の交通の約6割が河津下田道路に転換しました。

■【観光】海水浴場への所要時間の短縮（別紙3）

- ・下田市内の海水浴場への所要時間が4分短縮し、アクセス性が向上したことで海水浴客の増加が期待されます。

■【物流】農産物の品質保持（別紙4）

- ・走行性が高く、農産物の品質を保持しながら迅速に配送可能な代替路が形成されました。

■【地域活性化】ワーケーション施設へのアクセス性向上（別紙5）

- ・伊豆半島南部へのアクセスがしやすくなるとともに、ワーケーション施設利用者が増加しています。
- ・今後、伊豆縦貫自動車道の整備が進むことで、更なるワーケーションの推進が期待されます。

2. 配布資料

- （別紙1）開通区間の概要
- （別紙2）開通1年半後の交通状況
- （別紙3）【観光】海水浴場のにぎわい向上
- （別紙4）【物流】農産物の品質向上・ドライバーの負担軽減
- （別紙5）【地域活性化】関係人口の創出・拡大に期待

3. 配布先：静岡県政記者クラブ、沼津記者会、三島記者クラブ、下田記者クラブ

4. お問い合わせ先：〒410-8567 沼津市下香貫外原3244-2

国土交通省 中部地方整備局

沼津河川国道事務所 副所長（道路）

計画課長

TEL 055-934-2010

Mail cbr-nmz-tyouni@mlit.go.jp

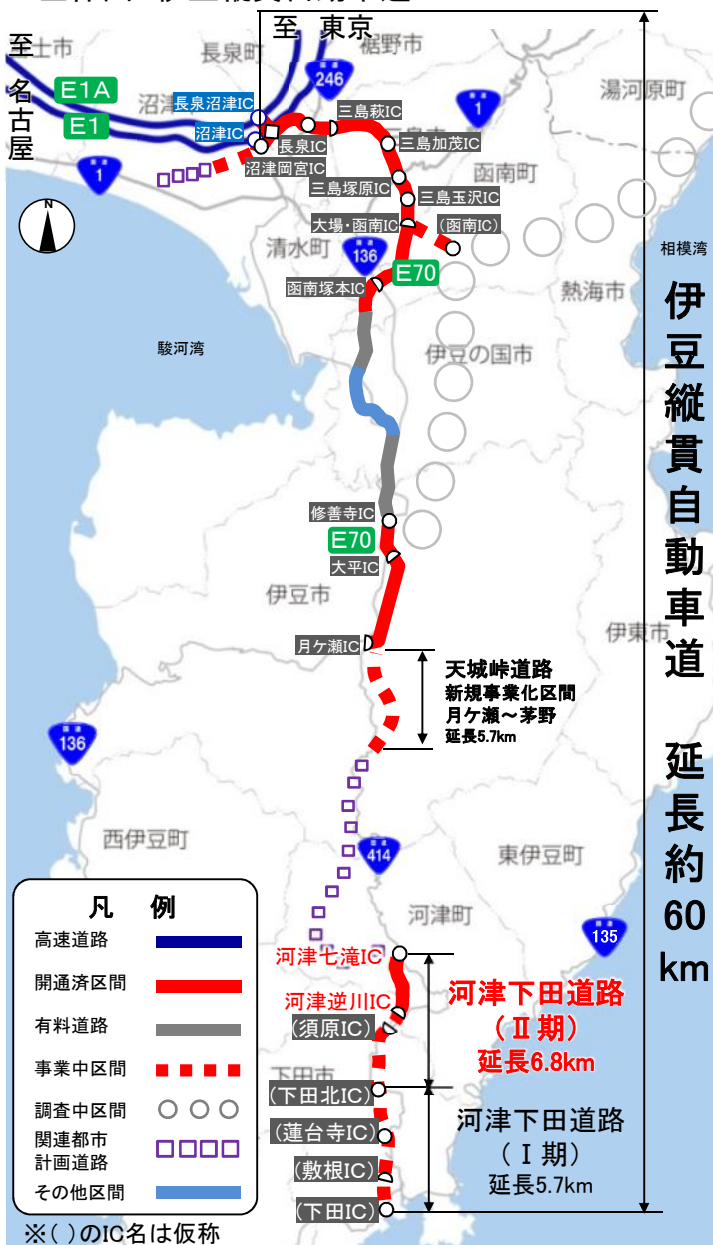
たけむら みとし
竹村 美利
ばんば りょうへい
番場 良平



■ ^{かわづしもだ}河津下田道路(Ⅰ期・Ⅱ期)は、^{いずじゅうかんじどうしゃどう}延長約60kmの伊豆縦貫自動車道の一部であり、^{かわづちよう}静岡県河津町から^{しもだし}静岡県下田市を通る延長約12.5kmの道路です。

■ 2023年3月19日に、河津下田道路(Ⅱ期)の一部区間である河津七滝IC～河津逆川IC間の3.0kmが開通しました。

■全体図 伊豆縦貫自動車道

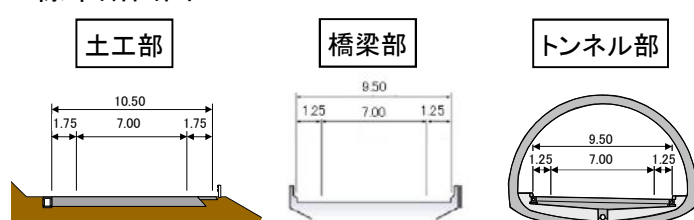


※()のIC名は仮称

■拡大図 河津下田道路(Ⅱ期)



■標準断面図



〔写真①〕 河津七滝IC交差点付近



[写真②] 本線区間



開通1年半後の交通状況

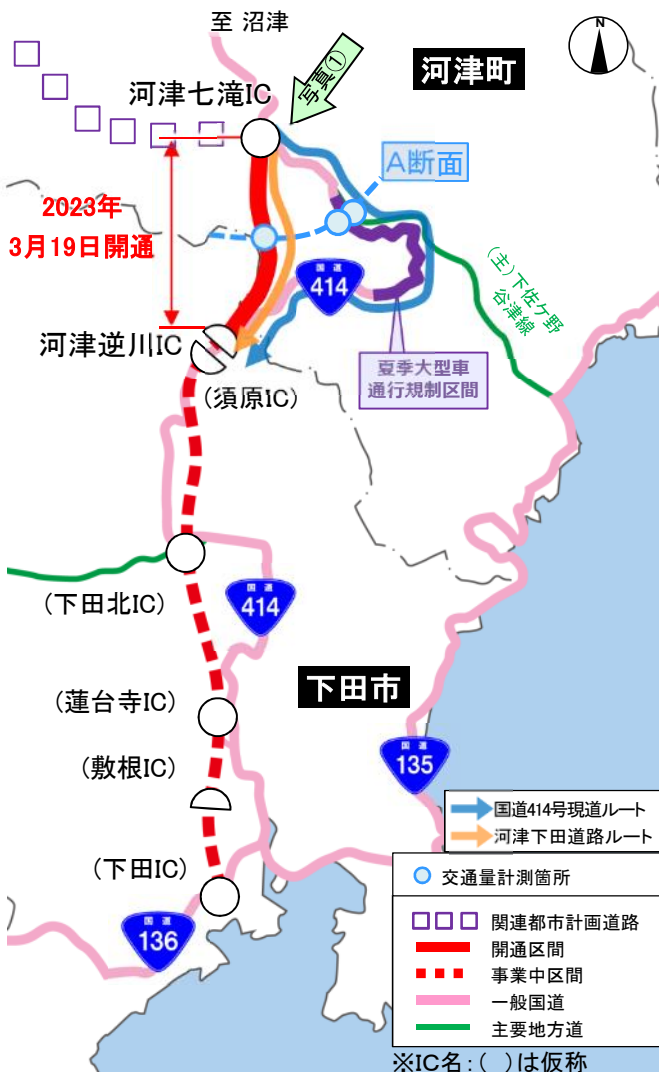
WISNET2050への対応



別紙 2

- 河津下田道路(Ⅱ期)河津七滝IC～河津逆川IC間の開通1年半後における交通量は、開通直後以降から堅調に増加しています。観光期である2024年8月の交通量は約5,800台/日(休日)です。
- 国道414号現道及び(主)下佐ヶ野谷津線の交通のうち約6割が河津下田道路(Ⅱ期)の開通区間に転換しました。大型車は約8割が開通区間に転換しました。断面の合計交通量も約2割(大型車は約5割)増加しています。
- 河津七滝ICから河津逆川ICの所要時間は約11分短縮しました。(開通前14分→開通後3分)

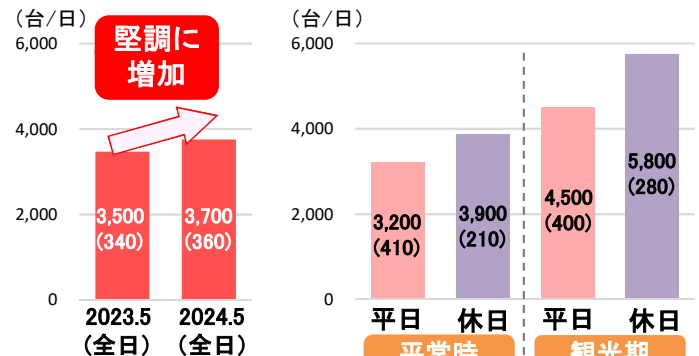
開通区間の概要図と交通量観測位置図



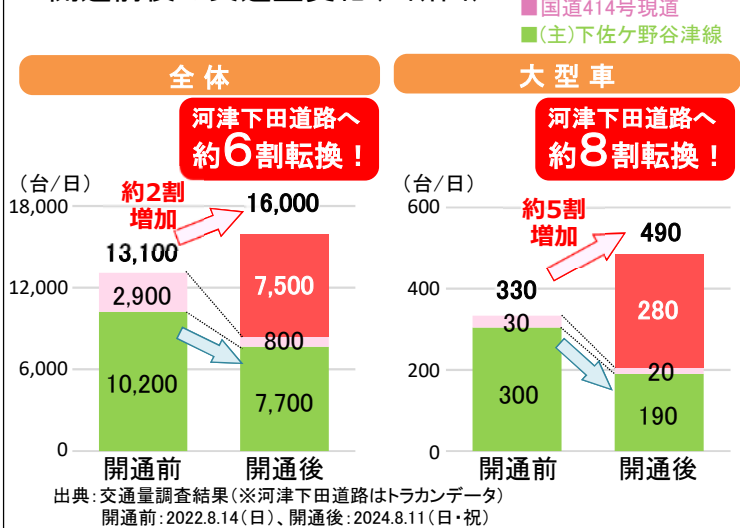
開通区間の交通量

【開通1年後の伸び】

【平常時・観光期の利用状況】



開通前後の交通量変化(A断面)



開通区間の利用状況

[写真①] 河津七滝IC交差点付近



2024.9撮影

開通前後の所要時間

【河津七滝IC→河津逆川IC】



出典:ETC2.0プローブデータ

開通前:2022.8.11(木・祝)、8.13(土)～8.14(日)(お盆期間の休日・祝日) 7～18時台平均
開通後:2024.8.10(土)～8.12(月・祝)(お盆期間の休日・祝日) 7～18時台平均



【観光】海水浴場のにぎわい向上

■ ^{かわづななだる}河津七滝IC～^{かわづさかさかわ}河津逆川IC間の開通により、海水浴場までのアクセスルートが新たに形成されるとともに、交通分散による国道135号の混雑緩和により、^{しもだし}下田市内の海水浴場のアクセス性が向上しました。

■ ^{いずじゅうかんじどうしゃどう}今後、伊豆縦貫自動車道の更なる開通により、^{しもだし}下田市内の海水浴客の増加が期待されます。

■伊豆縦貫自動車道の開通状況



■開通前後の所要時間

【河津七滝IC→外浦海水浴場】

	0	10	20	30	40	(分)
開通前 国道135号ルート						31分
開通後 国道135号ルート						27分
開通後 河津下田道路ルート						27分
						約4分短縮
						約4分短縮

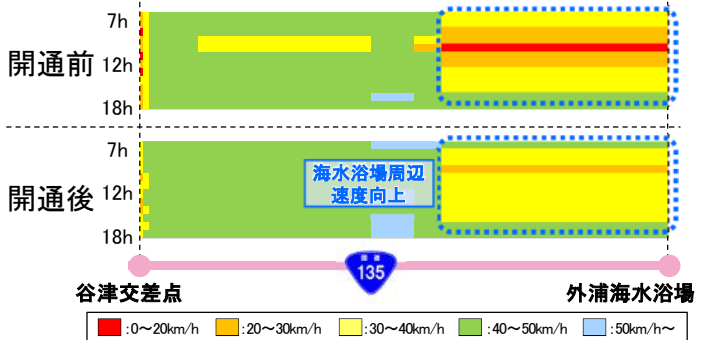
出典:ETC2.0プローブデータ

開通前:2022.8.11(木・祝)、8.13(土)～8.14(日)(お盆期間の休日・祝日) 7～18時台平均

開通後:2024.8.10(土)～8.12(月・祝)(お盆期間の休日・祝日) 7～18時台平均

■開通前後の速度状況(国道135号)

【谷津交差点→外浦海水浴場】



出典:ETC2.0プローブデータ

開通前:2022.8.11(木・祝)、8.13(土)～8.14(日)(お盆期間の休日・祝日) 7～18時台平均

開通後:2024.8.10(土)～8.12(月・祝)(お盆期間の休日・祝日) 7～18時台平均

下田市内海水浴場の様子

外浦海水浴場



2024.8撮影

白浜大浜海水浴場



2024.8撮影

例年、海水浴客の交通が国道135号に集中することで大規模な渋滞が発生していました。河津下田道路(Ⅱ期)の開通により、外浦海水浴場等の西側の海水浴場へのアクセスがしやすくなったため、海水浴客数の増加が顕著になっています。

また、交通分散により国道135号の混雑も緩和したため、東側の海水浴場もアクセス性が向上しています。



- JAふじ伊豆では^{かんなみ}函南支店等から農産物を配送する際、振動による荷痛みを避けるため国道414号現道^{かわづなだる}を避け、国道135号・国道136号を利用して^{かわづさかさわ}おり、収穫物の多い時期は配送に時間を要していました。
- 河津七滝IC～河津逆川IC間の^{かんなみ}開通に伴い、走行性が高く農産物の品質を保持しながら迅速に配送可能な代替路が形成されるとともに、ドライバーの負担軽減や業務効率化に寄与しています。

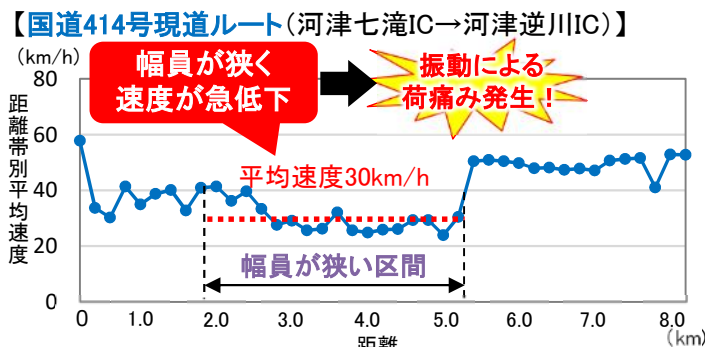
■ 直営ファーマーズマーケットへの輸送経路



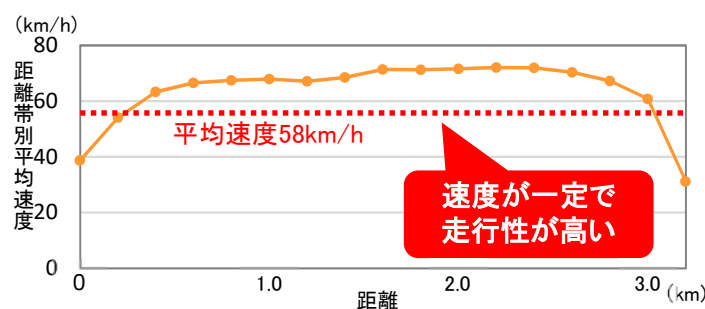
■ 国道414号現道の線形不良区間



■ 距離帯別平均走行速度



■ 河津下田道路ルート(河津七滝IC→河津逆川IC)



出典：ETC2.0プローブデータ
国道414号現道：2022.8.8(月)～8.14(日)、河津下田道路：2024.8.6(火)～8.12(月・祝)

■ プラットフォーム事業の集配送イメージ



JAふじ伊豆では管内の農産物を函南支店に集め、各地へ配送する“プラットフォーム事業”を実施しています。線形が悪く幅員の狭い国道414号現道は、農産物に気を遣う必要があり運転しづらいため、開通前は国道135号と国道136号を利用し丸1日かけて配送していました。開通後は、真っ直ぐで走行しやすい開通区間を利用する2ルートの配送が可能となり、ドライバーの負担軽減や、農産物が多い時期であっても迅速な配送により他の業務に時間を割くことができ業務効率化にも繋がっています。

■ かわづしもだ河津下田道路の開通により線形の悪い区間を避けることができ、施設利用者のアクセス性向上・いずじゅうかんじどうしゃどうリピーターの増加に寄与しています。今後、伊豆縦貫自動車道の更なる整備推進により、関東方面の企業などからサテライトオフィスの地として選ばれやすくなり地域活性化への寄与が期待されます。

伊豆縦貫自動車道整備により
関東方面などからの
アクセス性向上！

西伊豆町

河津町

河津七滝IC

2023年
3月19日開通

河津逆川IC

(須原IC)

下田市

(下田北IC)

(蓮台寺IC)

(敷根IC)

(下田IC)

南伊豆町

旧杉並区職員官舎

WORK x ation Site
伊豆下田

● 下田市ワーケーション施設
● 下田市ワーケーション協力施設
● 南伊豆町ワーケーション施設

□ □ □ 関連都市計画道路
— 開通区間
- - - 事業中区間
— 一般国道
— 主要地方道

※IC名: ()は仮称

出典: 下田市ワーケーション施設・協力施設…下田市が指定する施設
南伊豆町ワーケーション施設…南伊豆町が指定する施設

※IC名: ()は仮称

出典: 下田市ワーケーション施設・協力施設…下田市が指定する施設
南伊豆町ワーケーション施設…南伊豆町プロジェクト施設情報

(下田市ヒアリング 2024.7)

(南伊豆町ヒアリング 2024.7)

下田市では、「地域内外の共創」をテーマに、市内の豊かな自然や歴史といった資源を味わいながら仕事をする「ワーケーション」の取組を推進。ワーケーション施設利用者と市内事業者の交流も生まれており、地域内外の繋がり維持・拡大を目指している。

下田市提供

南伊豆町では、まちの魅力を活かしたライフスタイル・ワーケーションを創出し、転出抑制・転入増加を目標に、サテライトオフィス誘致やワーケーションプログラムの作成等を実施。サイクリスト向けや学生向けのプログラム等が用意されており南伊豆町の魅力を体感できる。

A bright, modern meeting room with large windows, wooden desks, and chairs. The room features a high ceiling with exposed wooden beams and a light-colored wooden floor. Large windows on the left side offer a view of the outdoors. The room is furnished with two wooden desks, each with a computer monitor, and several wooden chairs. A large blackboard is mounted on the wall. The overall atmosphere is clean and professional.

南伊豆町提供

県外からの利用者数 (人)

年	県外からの利用者数 (人)	県内からの利用者数 (人)	合計 (人)
2020	66	33	99
2021	92	139	231
2022	188	305	493
2023	243	476	719

増加傾向

県外からの利用者も増加傾向！

県外からの利用者数

県内からの利用者数

出典：下田市ヒアリング（2024.7）

※下田市の公共施設ワーキングスペース利用者数

伊豆半島

新しい道、
できます。

しもだし
下田市

みなみいずちょう
南伊豆町

IZU

